



まつかぜ

松之木小だより

児童数：365名



八潮市立松之木小学校



「聴く」ことを大切に

校長 須賀 裕之

令和7年度が始まって早1か月。風爽やかな5月を迎えました。5月とはいうもののここ数年、蒸し暑い日が多くなりました。気温の上昇に注意しながら、熱中症には十分気をつけて学習を進めていきます。

さて、4月の始業式では、子供達に1学期にがんばってほしいことを話しました。以下に一部紹介します。

新年度のスタートにあたり、みんなに頑張ってもらいたいこと、それは、人の話を最後まで「聴く」ことです。人の話を「きく」という場合の漢字はふつう、もんがまえにみみの「聞く」を使いますが、みんなに頑張ってもらいたいと思っている「きく」は次の漢字です。

※「聴く」・・・この漢字には、「集中して耳を傾ける」という意味があります。

今、皆さんは、校長先生の話をしっかり「聴く」ことができます。大変素晴らしい態度です。ぜひ、皆さんには、これからも、先生や友達の話最後まで聴いてほしいと思います。人の話を「聴く」ときのポイントは、

※相手の「目」をみて、「耳」と「心」で、「十」分に 聴く、です。

人の話を最後までしっかり聞くことができると、授業の内容がよくわかったり、新しいことが発見できたり、またそのことについて、意見を述べたり、質問できたりします。人の話を「聴く」ことが上手になると、勉強も運動も、もっともっと、できるようになり、いいことがいっぱい増えます。

では、今日から「聴く」ことを大切に、勉強も運動もがんばってください。校長先生も皆さんに負けないように、人の話を最後まで聴きたいと思っています。

私達も日頃、相手の話を聴くときは、話し手の「話したいこと、伝えたいこと」に「耳」を傾け、しぐさや表情に「目」を向け、どうしてそう考えたのか「心」を配って聴くことが必要です。そして何よりも、「私はあなたの話をしっかり聴こうと思っています。」「私はあなたのことを大切に思っています。」という気持ちで話を聴くこと、すなわち、『思いやりの心』がとても大事です。

私自身もそういう気持ちで相手の話を聴いていこうと、改めて思います。